]令和５年度　鼓ヶ浦中学校　研修計画　　学校長　羽山　哉美

研究主題

「支え合い、高め合い、未来に向かって学び続ける生徒の育成」

～「聴き合う関係」を大切にした対話的で深い学びの創造～

1. 研修の基本方針

現在、子どもたちを取り巻く環境は急速に変化を遂げている。グローバル化は私たちの社会に多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新は生活に多くの影響を与えている。そのため、子どもたちにとって、将来の変化を予測することが困難な時代になりつつある。子どもたちが、自ら将来を切り拓いていくためには、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合い、関わり合うことが重要である。

授業を通し、解き方があらかじめ定まった問題を効率的に解く力を育むだけではなく、自ら得た知識や、情報から何が重要かを判断・活用し、課題を解決する力を育てていきたい。そのためにも子どもたちが教科の本質に即した質の高い課題に教科の見方・考え方を働かせながら取り組み、「自分の将来のために学びたい」という気持ちを育てたい。子どもたちは授業の中で、様々な人と関わり合いながら学び、その学びを通じて、自分の存在が認められることや、自分の活動によって何かを変えたり、身の回りの環境をよりよくしたりできることなどの実感をもつことができるようになる。そうした実感は、子どもたちにとって、自らの活動が身近な地域や社会生活に影響を与えるという認識につながり、夢や目標を持つきっかけとなる。

上記のことを踏まえ、本校は、生徒一人ひとりの学びを保障する授業を目指し、〈聴き合う関係〉〈ジャンプのある学び〉〈教科の本質に即した学び〉を授業作りの核としている。生徒同士の関わり合いを目的としたコの字型座席配置や小グループによる活動を取り入れることで、共に学びあう生徒を育てていきたい。

授業研究・研究協議を行うことは、各教科の専門性を高めるとともに教職員の同僚性にもつながるため、全教職員が、年１回以上の授業研究を実施している。

2. 主題設定の理由

本校では１２年前より「一人ひとりの学びを保障する授業づくり」を進めている。取り組みの中で、生徒は聴き合う関係性を築き、難易度の高い課題に対しても解決しようとする姿が見られた。しかし、生徒同士で関わりを持つことが難しい生徒は一定数存在し、不登校の一因となっているのではないかという意見も出ている。こうした生徒が安心して学べる環境を作るために、教職員が、子どもたちの聴き合う関係や子どもの姿から授業改善を行っていく取り組みをより一層深めていく必要がある。そのためにも、教師は「聴く・つなぐ・もどす・ケアする」という役割を自覚して日々の授業に臨みたい。このことが、学びを諦めず、自分を大切にし、他者を受け入れ寄り添うことができる子どもを育ててゆくことにつながるので、本主題として設定した。

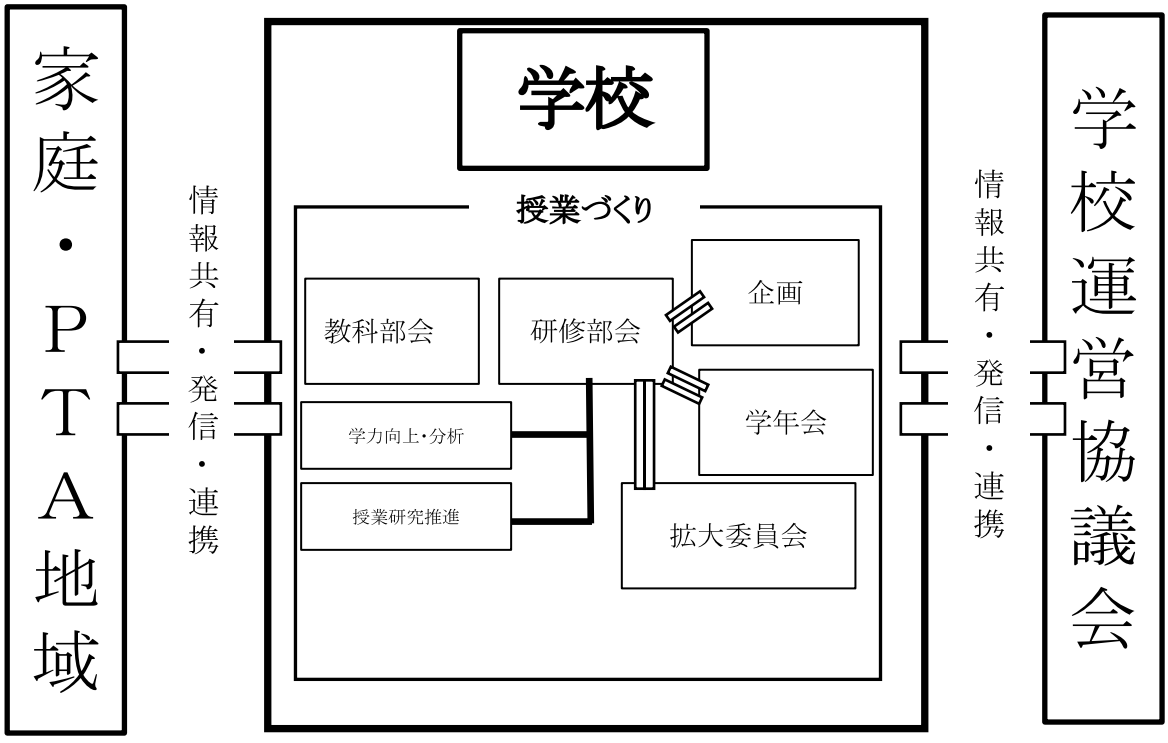
3. 本年度の取り組み

今年度は以下の４点を重点的に取り組み、「支え合い、高め合い、未来に向かって学び続ける生徒」を育てていきたい。

〇生徒同士をつなぐための「場作り」や「言葉がけ」を意識する。
◯教科部会を定期的に開き、生徒がつながり、より深い学びができる課題づくりを行う。
◯学習や実技が苦手な生徒がおいてきぼりにならないよう、生徒を観取り、生徒の学びや関係づくりに必要な関わりを行う。
◯生徒自身が自分の考えや困ったことなどを発信でき、安心して学べる教室をつくる。

4. 組織体制

・研修委員会：校長、教頭、研修長、各学年より１名



5. 研修部の重点的な取り組み

【授業研究担当】
・授業を通して、目指す子ども像、目指す仲間集団を実現するための取り組み。
・子どもが安心して学ぶことができるクラス、聴き合う関係を大切にした学び合いの実現。
・主体的・対話的で深い学びとなるような授業の実現。

【具体的な取り組み】
①先生たちが授業を観あえる場、授業研究をする場の設定。
②授業研究、校内授業研修会、教科部会の計画、準備等。
③誰もが安心して、学び合える授業に向けてどうしていったらよいか、発信、検証、改善。
④安心して学ぶための学びの約束の統一、発信。
⑤生徒アンケートの作成・検証。

【学力向上・分析担当】

・目指す子どもの姿を実現するために必要な学力を生徒が身に着けるための取り組み。

【具体的な取り組み】

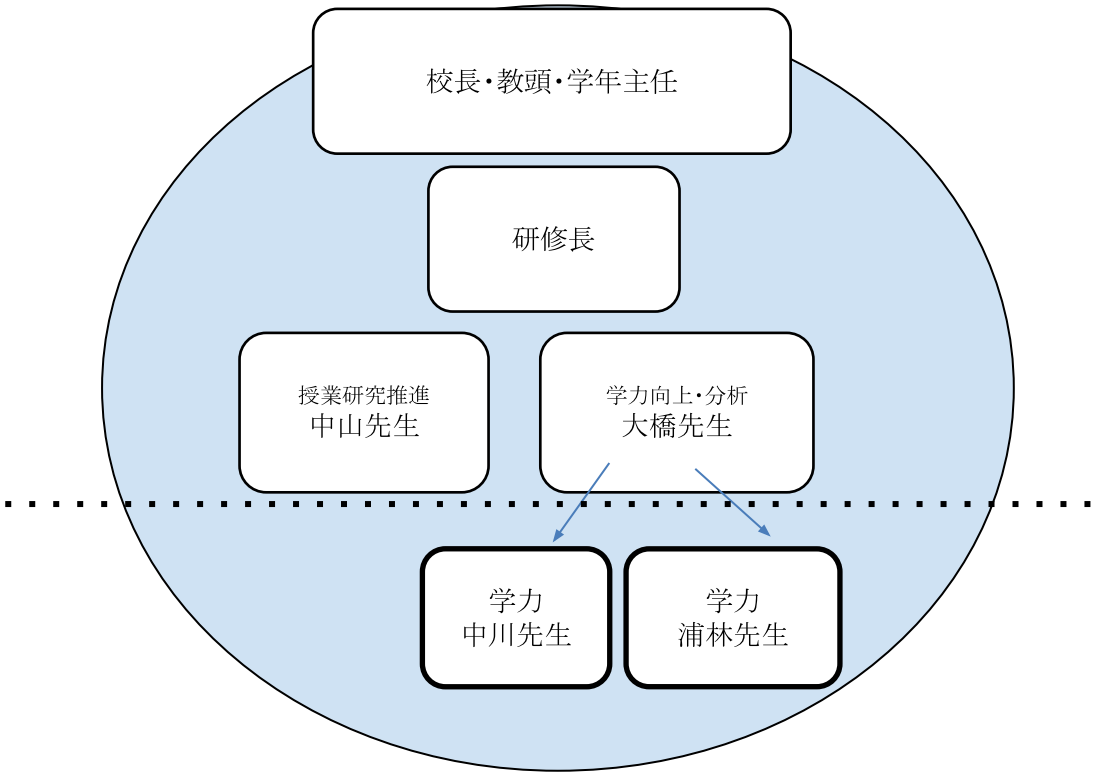
①全国学力状況調査やみえ・スタディチェックから本校の現状を把握し、全体へ発信し、各先生方の授業改善につなげる。

②家庭学習の推進。チェックシート作成、計画、検証。

③効果的な放課後学習や家庭学習の方法の発信。

6. 各学年・先生方へのお願い

拡大委員会組織図



（先生方へのお願い）

【授業研究】

・授業の中で、目指す子ども像、目指す仲間集団を全職員で実現していきましょう。

・安心して学ぶことができるクラス、聴き合う関係を大切にした授業を作っていきましょう。

・主体的・対話的で深い学びとなるような授業を行っていきましょう。

【具体的な取り組み】

①日々の授業から「聴く」こと「関わる」ことを大切にしましょう。

②聴き合う集団をつくるために場の設定をしましょう。コの字、グループ、ペアなどの活用。

③授業の中で、１人では解けない、協力する必要がある課題、活動を考えていきましょう。

④子どもの姿を丁寧に観て、子どもの姿から授業改善をしていきましょう。

⑤授業規律を統一していきましょう。１人１回授業公開します。

【学力向上・改善】

・学力向上に向けた取り組み。あくまでも目指す子どもの実現のために行う。

【具体的な取り組み】

①みえスタディチェックからの現状、課題を把握し、授業改善につなげましょう。
（現状の発信は研修部からします）

②家庭学習の推進（チェックシート等）。

③学力向上のため、放課後学習、家庭学習をいかに効果的にできるか考えていきましょう。